

## コガネムシに関する知見 (2)

石田 正明

Notes on the Lamellicornia (2)

3. Some newly record of the Sericid-Beetles from Japan

4. Description on the female of *Trichomaladera elongata* NOMURA

By Masaaki ISIDA

Miyamae 3-23-5, Suginami-ku, Tokyo Pref. 168

### 3. 日本産ピロウドコガネ類の 新分布記録

コガネムシ科のピロウドコガネ亜科 Sericinae についての知見は、最近野村鎮氏のすばらしい努力のおかげで、飛躍的に開拓され、日本産についてはほぼその全容が明らかにされたかの如く思われる。

この類のコガネは一般に小型で、しかも類似したものが多く、その種名の同定は必ずしも容易ではない。したがって、正確に種名を同定するためには、多数の標本を比較し、文献を十分にあさることはもちろんであるが、それを備えても、なおかつしばしば熟練した手法を必要とする。

従来の採集目録や分布記録の中には、再検討を要すると思われるものが、かなりあると考えられる。これらについては、1つ1つを再確認していくことが必要なのであるが、目録製作後にすでに標本の失なわれているものや、普通種であるためか、単に目撃による認知に基づいて報告されているものなどがあって、現在では追跡することが不可能になっているものも少なくない。今後目録や新分布を記録される方は、必ず証拠標本を保管しておいて下さるようお願いしたい。

本報文において、筆者は手許にある標本および実際に被検することのできた標本に基づいて、従来記録のなかったものについて、新分布と思われるもの若干を記録しておきたい。

#### 1. *Maladera* (s. str.) *impressithorax* NOMURA ムナクボピロウドコガネ (写真1)

1♀, 沖縄本島辺土名, 1978. Ⅳ. 9, 堀口 徹採集  
原産地は奄美大島東仲間である。原記載発表以来、本

種の新産地の報告は後述のものがあるだけである。上記の記録は本種の分布をより南に広げたものである。

上記の沖縄本島辺土名産の個体は、原産地である奄美大島のもとはよく一致する。一方、小林は1978年に沖永良部島(奄美諸島)の2♂1♀を、本種の亜種と認めて、ssp. *okinoerabuana* を設定している。しかし、記載文をよむ限りにおいては基亜種の *impressithorax* と明確に区別できる標徴をもっていないように思われる。しかも、上記の沖縄本島産のものが *M. impressithorax* とよく一致する限りは、原産地奄美大島と沖縄本島の間にはさまれる沖永良部島のもも亜種として区別すべきではないと思われる。ただし、小林が図示している ssp. *okinoerabuana* の♂の genitalia が何らかの原因で変形しているのでなければ、*okinoerabuana* は *impressithorax* とは別種ではないかとの疑問がもたれる。

#### 2. *Maladera* (s. str.) *japonica japonica* (MOTSCHULSKY) ピロウドコガネ

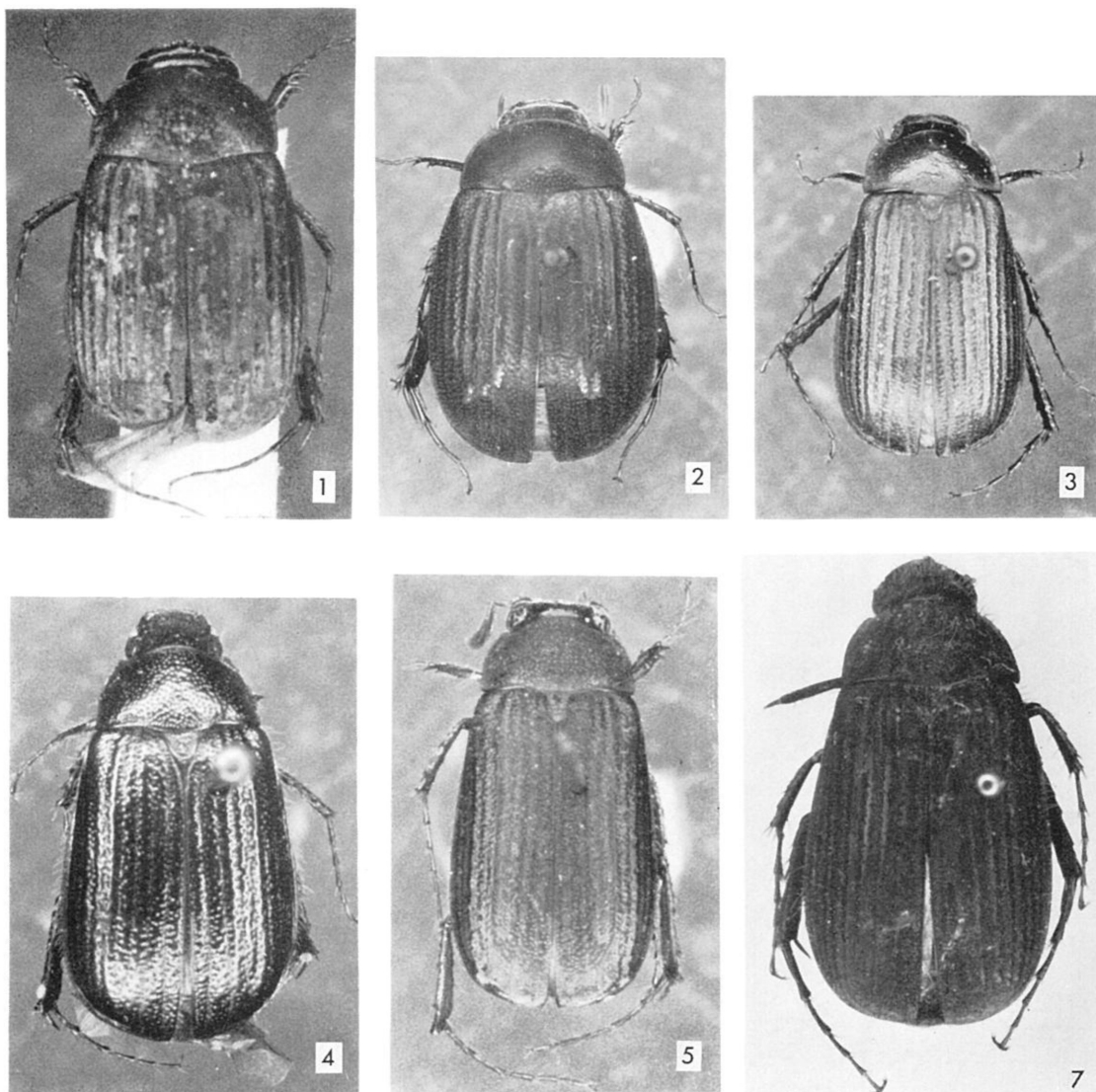
1♂, 北海道羅臼岳, 1977. Ⅶ. 27, Y. ISHIKAWA leg.  
本種の北海道の産地は道南の半島部がいられているが、道東の分布は報告されていないようである。上記の記録は、本種の北限を今のところ示すものである。

#### 3. *Maladera* (s. str.) *opima* NOMURA オオマルピロウドコガネ (写真2)

1♂, 石垣島おもと岳, 1975. Ⅷ. 6, 長尾悟採集  
原産地は西表島波照間山である。先島諸島中の西表・宮古の2島から報告されている。今回石垣島を産地として追加する。

#### 4. *Maladera* (s. str.) *orientalis* (MOTSCHULSKY) ヒメピロウドコガネ

1♂, 北海道旭川市春志内, 1978. Ⅴ. 18, T. OIDAIRA leg.



写真：1. ムナクホビロウドコガネ 2. オオマルビロウドコガネ 3. ババチャイロコガネ 4. キラチャイロコガネ  
5. ミヤケチャイロコガネ 7. ナガケブカビロウドコガネ

1♂, 北海道江別市野幌, 1975. V. 23, 阿部東採集

本種については, 小樽からの記録はあるが, 北海道からの記録はあまりないようなので, 上記の2例をかかげておく. 旭川は今のところ本種の北限の産地であろう.

5. *Maladera* (s. str.) *oshimana sakishimana*

NOMURA サキシマビロウドコガネ

1♂, 与那国島租納, 1979. III. 25, 堀口徹・蔵

原産地は西表島租納である. ほかに石垣島おもとからの記録もあるが, 上記の与那国島の記録は新分布であって, 今のところ分布の西限を示す.

6. *Serica karafutoensis honshuensis*; NOMURA

ホンシュウビロウドコガネ

1♂, 鳥取県大山, 1973. VI. 3, 採集者不明

原産地は新潟県蓮華温泉である. 北は青森県, 裏日本は新潟県, 中央高地は長野県, 表日本は静岡県までの記録がある. 上記の産地は, 現在での西限を示すものである.

7. *Nipponoserica similis* (LEWIS)

カバイロビロウドコガネ

1♂, 高知県梶ヶ森, 1972. VII. 27, 小坂隆採集

原産地は九州長崎県人吉である. 熊本県よりの報告もある. 四国では愛媛県の松山よりの報告がある. 高知県

よりは初記録であろう。

本種の本州からの記録については再検討を要する。

8. *Sericania babai* NOMURA

ババチャイロコガネ (写真3)

1 ♀, 山形県飯豊山ぬくみ平, 1971. VII. 31, 小池寛採集  
原産地は新潟県しんぼたけである。新潟県下の2~3  
か所のほか、栃木県那須からの記録がある。山形県よりの  
記録は初記録で、本種の分布の北限を今のところ示す  
ものといえよう。

9. *Sericania fulgida* NIJIMA et KINOSHITA

ツヤチャイロコガネ

1 ♀, 青森県西津軽郡追分嶺, 1973. V. 15, 阿部東採集  
1 ♀, 青森県鯉か沢, 1974. VI. 16, 阿部東採集  
1 ♀, 青森県十二湖, 1969. VI. 23, 阿部東採集  
1 ♀, 青森県十二湖, 1974. VII. 16, 阿部東採集  
原産地は栃木県日光中禅寺である。現在報告されてい  
る産地の北限は山形県一宮城県である。上記の記録は本  
種の産地をより北に広げたものであって、現況での北限  
を示すものといえる。

10. *Sericania hidana* NIJIMA et KINOSHITA

ヒダチャイロコガネ

1 ♂, 山梨県北岳 (赤石山脈), 1976. VII. 31, 長島洋二  
採集  
原産地は飛騨である。現在報告されている産地は、中  
央日本に位置する新潟・長野・栃木・富山・岐阜・静岡  
の諸県であり、いずれも山地より採集されている。上記  
の記録は山梨県よりの初記録ということであるが、中央  
高地よりの記録としては変わったものとはいえない。

11. *Sericania imadatei* SAWADA

イマダテチャイロコガネ

2 ♀, 岐阜県恵那山, 1978. VI. 11, 露木茂採集  
原産地は奈良県春日である。三重・滋賀・大阪・奈良  
の諸府県と四国の愛媛県松山からの記録がある。西日本  
に傾った分布を示している。上記の記録は岐阜県からの  
初記録であり、現況での分布東限を示すものである。

12. *Sericania kirai* SAWADA

キラチャイロコガネ (写真4)

1 ♀, 青森県十二湖, 1966. VI. 16, 阿部東採集  
原産地は九州福岡県ひらの山である。四国の愛媛県而  
河溪からの記録もある。本州からの記録は鳥取・兵庫・  
京都・三重・岐阜・静岡・山梨・長野・新潟・群馬の諸  
府県がある。東北日本からの記録は今まで見あたらない  
ので、上記の記録は現況での北限を示すものである。

13. *Sericania mimica* LEWIS

ナエドコチャイロコガネ

1 ♀, 大阪府茨木市宿久庄, 1970. V. 1, 山口雄次採集

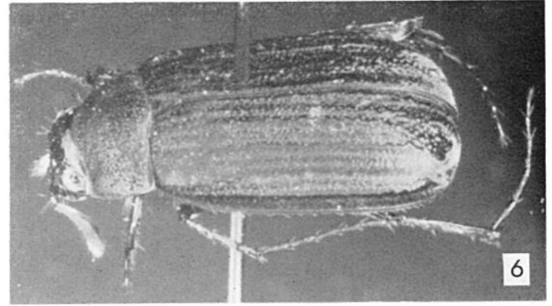


写真6 ミヤケチャイロコガネ

本種の出産地は神奈川県箱根宮の下である。東北日本  
では岩手県、関東・甲信地方、東海地方、さらに四国の  
愛媛県や佐渡からの記録がある。上記の大阪よりの記録  
は現況での本州における本種の分布の西限を示すもの  
である。

14. *Sericania miyakei* NOMURA

ミヤケチャイロコガネ (写真5, 6)

1 ♂, 愛媛県小田深山, 1971. V. 16, 菅晃採集  
原産地は九州福岡県田代である。北九州以外からの記  
録はない。上記は四国よりの初記録であり、現況での分  
布の東限を示す。

以上14種について新分布と思われるものを記録した。  
この記録は、いわゆる粗分布をとり扱ったもので、実は  
*Sericinae* の分布については、分類の精度が進むにつ  
れて、種ごとに正確な微分布の解明が必要となる。

同好諸氏の標本箱に納まっている標本が精査されて、  
もっとも密度の高い分布地図の描かれることがのぞ  
まれる。

4. ナガケブカピロウドコガネ  
の♀について

*Trichomaladera elongata* NOMURA ナガケブカピ  
ロウドコガネ (新称) は、野村鎮氏によって、1974年に桐  
柵学報 (*Tchō Gakuhō*) 24号に新属新種として記載され  
た。

模式産地は台湾の拉拉山で、同地産の2♂をそれぞ  
れ holotype, paratype に指定してある。採集期は6月で  
ある。他に台湾梨山で7月に採集された2♂をも para-  
type に指定している。

したがって本種の記載文は♂についてのみ書かれたも  
のである。

筆者の所蔵標本の中に本種の♀ (写真7) をみだし

たので、これを記録し、和文で記載をしておきたい。

1 ♀, 台湾・埔里 (Puli), 1963. Ⅷ, 採集者不明

標徴: ♀, 長卵形. 暗赤褐色. 頭楯・前胸背の周辺・小楯板の周辺と会合線に沿う部分をのぞいた翅鞘の大部分・各肢・口器付属肢・触角はやや淡色. 体上面および下面は光沢なし, ただし光によっては真珠様に光る. 頭楯・各肢の脛節と跗節・前腿節・触角は光沢あり.

頭楯は台形, 浅く疎に点刻され, やや湾曲した長短2種の刺毛を密にそなえ, 中央はわずかに高まり, 側縁は上反して前方にややせばまり, 前縁は上反して中央が彎入し, 前縁に沿ってほそい溝があり, 前角はまるい.

前頭会線はほそいが明瞭で, 後方に直線状に曲る.

前頭は頭楯よりもはるかに微細に点刻され, 頭楯のものよりもやや長い湾曲した刺毛をそなえ, 特に眼の内側に沿った2~3本の毛は長い.

触角は10節, 片状部は3節で柄部より少し長い(合では柄部の1.7倍).

前胸背は前頭および頭頂とほぼ同様の点刻をそなえ, 中央後方に細いたての隆起があり, 長短2種の刺毛をそなえていて前角部や側縁のものは特に長く, 前角は突出して先端はややとがり, 後角はほぼ直角でまるく, 側縁は細くふちどられ基部で最も広くて前方にむかってせばまりつつ基部3分の1あたりでわずかに波曲し, 後縁はふちどられないで中央部は後方へはり出す.

小楯板はややたて長の三角形, 中央はほそく隆起し,

前胸背とほぼ同様の点刻をそなえ, 後方にねる短刺毛をまばらにそなえる.

翅鞘は各9条溝をそなえ, 条溝内点刻は前胸背のものよりはやや大きくやや明瞭なものを密にそなえてさらにその両側により大きい点刻を疎にえなえ, 間室は平坦で滑らかで一様に後方にねる短刺毛をそなえ, 基部・両肩・側縁部には長刺毛をそなえ, 側縁隆起上に1列の長刺毛列をもち, 翅端にほそい縁膜をもつ.

尾節板はよわく中央が高まり, その中央にはそいたての隆起があり, 基部両側はくぼみ, 側・後縁はほそいが明瞭にふちどられ, 上面は前胸背に比べてより明瞭に点刻され, 一様に長短2種の刺毛におおわれていて, その端方のものは長い.

各腹節は尾節板とほぼ同様の点刻をもち, 1列の刺毛列をそなえる.

後腿節は長だ円形, 前縁に沿って1列の短刺毛列があり, 基方は後縁およびその前に各1列のやや長い刺毛列があり, 腹部よりはまばらに点刻され, 後縁の上稜および下稜の先端部は鋸歯状を呈す.

後脛節はほそ長く, たて長の強い点刻をもち, 外側に2段刻を有し, 外端棘は第1跗節より短い.

後跗節はたて長の点刻をもち, 下面は刺毛を欠く.

各爪は先端2裂する(前跗節は欠損のため不明).

体長: 13 mm, 体幅: 7 mm.